

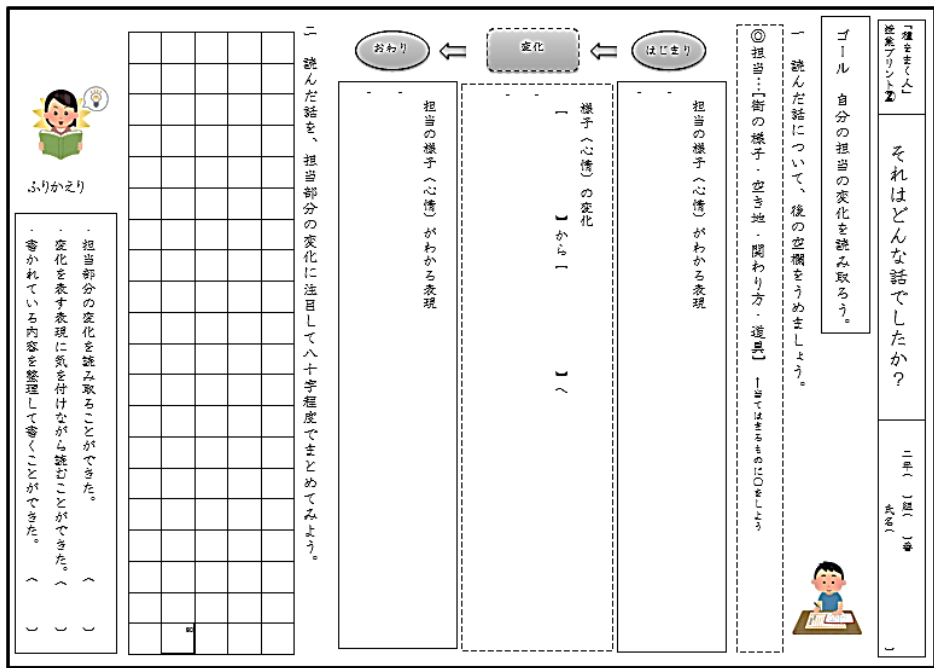


中学校2年

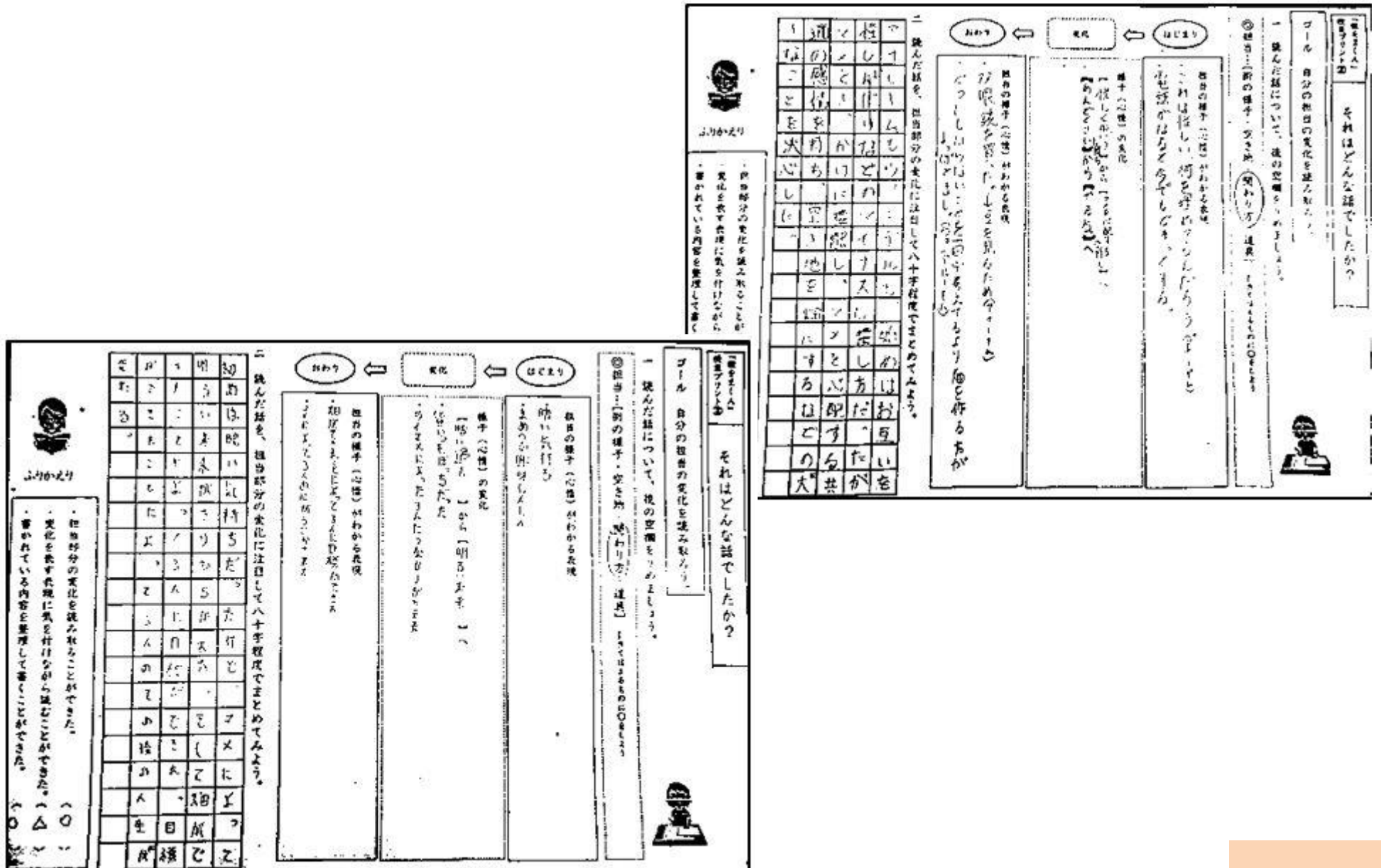
教科	活用場面	番号・活用シート名	領域 番号	基になった活用シート名	市町村	学 校
国語	授業	①それはどんな話でしたか？	読 11	それはどんなお話でしたか？	大東市	谷川中学校
国語	授業	②より良い文章のために	書 6	わたしは作家さん	羽曳野市	高鷲南中学校
国語	授業	③敬語を使って、ワンランクアップ	言 6	敬語を使って、ワンランクアップ	千早赤阪村	村立中学校
国語	授業	④ひみつのマークあてゲーム	話聞 2	ひみつのマークあてゲーム	島本町	第二中学校
数学	授業 家庭学習	⑤今日学んだこと、教えるよ！	書 7	今日学んだこと、教えるよ！	枚方市	中宮中学校

「ことばのちから」活用シート 活用事例

【大東市立谷川中学校】

活用シート名	①それはどんな話でしたか？			基になった活用シート名	読11 それはどんなお話でしたか？
学年	中学校2年	教科	国語	時期	10月
活用場面	授業（展開）			配当時間	45分
目標	自分の担当の変化を読み取ろう				
活用シート 工夫した点	<p>●物語文を読む際の視点を分担し、担当ごとに、変化を読み取れるようにした。</p> 				
成果や改善点	<p>●担当によって難易度に差があった。</p> <p>●先に情報を整理したことで、同じ担当どうしが集まった時もスムーズに話せていた。</p>				

子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真等）



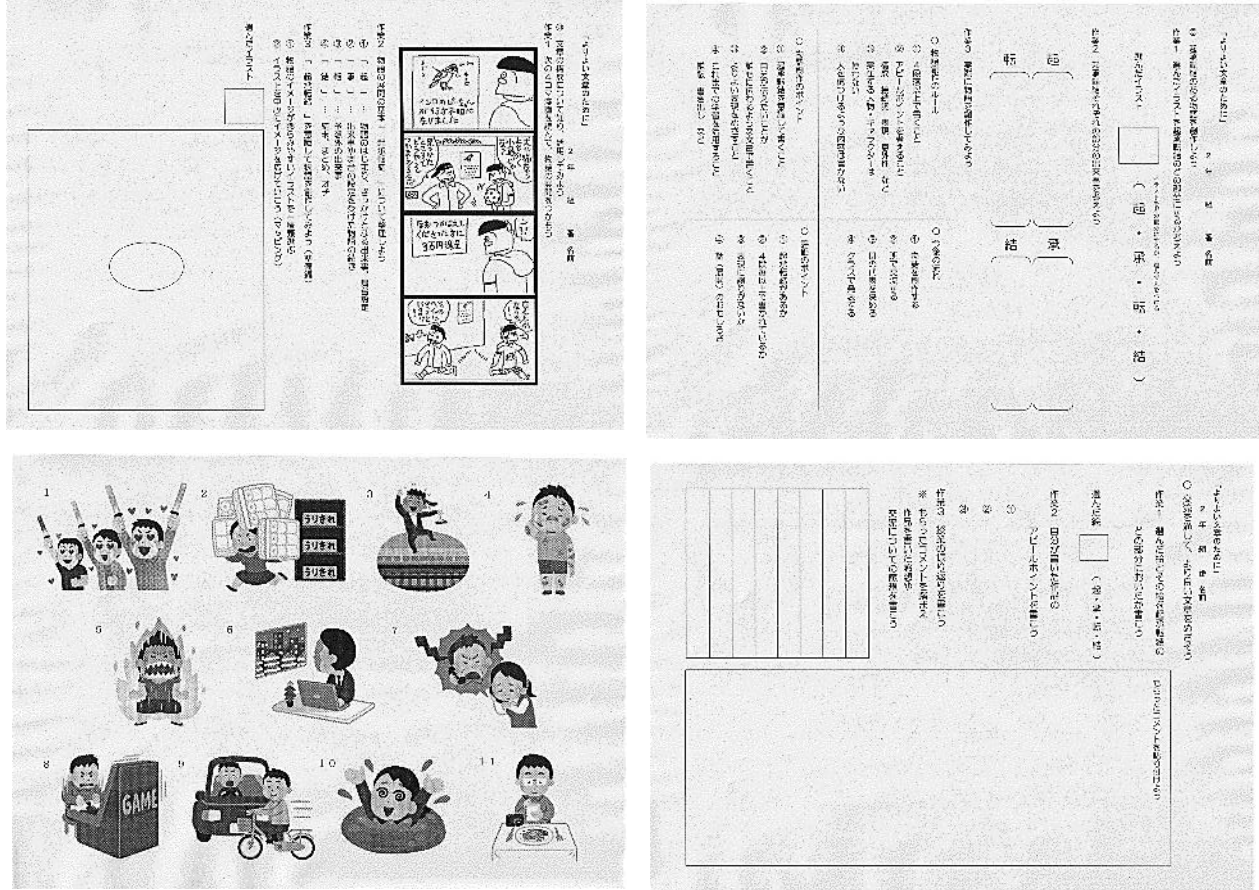
The image shows two examples of student work. The top example features a grid for notes, a flowchart with 'おわり' (End), '変化' (Change), and 'はじめ' (Beginning) stages, and a vertical text box containing the question 'それはどんな話でしたか？' (What kind of story was it?). The bottom example shows a similar grid and flowchart, with a vertical text box containing the question 'それはどんな話でしたか？' and handwritten notes.

「ことばのちから」活用シート 活用事例

【羽曳野市立高鷲南中学校】

活用シート名	②より良い文章のために			基になった活用シート名	書6 わたしは作家さん
学年	中学校2年	教科	国語	時期	11月
活用場面	授業（展開）			配当時間	50分
目標	読み手の立場に立って起承転結などに注意し、文章の構成や展開を工夫することができる				

活用シート



工夫した点

- 一つのイラストをもとに物語を創作するという活動であったが、活動に抵抗が生まれにくくなるよう、スモールステップで活動を設定した。また、イラストにも幅を持たせ、様々な生徒にとって取り組みやすい活動とした。
- 創作や交流に、ルールや枠組みを設定し学びの全体化ができるよう活動を設定した。
- 評価の基準や、例文を事前に示すことで活動の目標が見えやすくなるように工夫した。

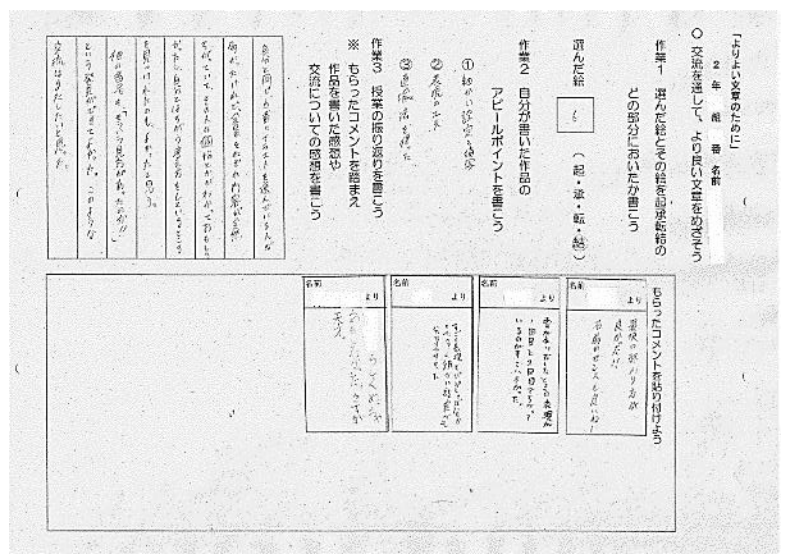
成果や改善点

- 課題のあった段落意識に改善が見られた。また、起承転結だけでなく既習内容を用いて作品を創作する姿があった。
- 「よりよい文章」をめざしたが、時間の関係で交流のあと自分の文章を振り返り推敲するなどの時間をとることができなかった。

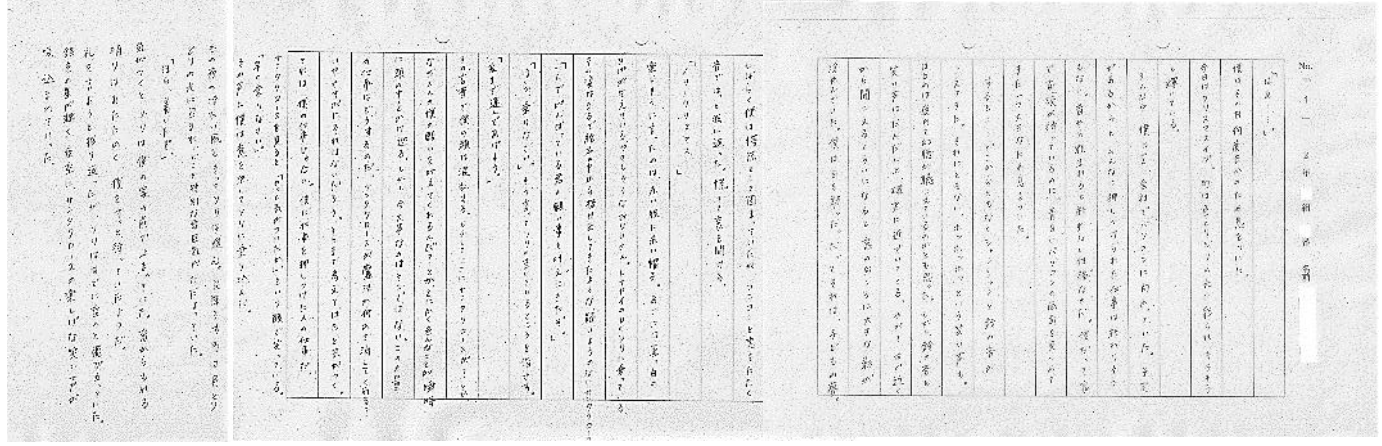
子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真等）

生徒のふりかえりシート→

- 多くの生徒が積極的に物語の創作に向かっていた。
- 交流の場面では、声の聞こえにくい生徒の発表などに対して、身を乗り出して聞くような聞く姿勢が見られた。
- 活動後の振り返りシートには、同じイラストから、様々な物語が生まれることのおもしろさや自分には無かった表現、班の代表者それぞれの良い点や、特徴が挙げられていた。また「やってよかった」「おもしろかった」「またやりたいとおもった」というような声も多く、充実した活動となった。

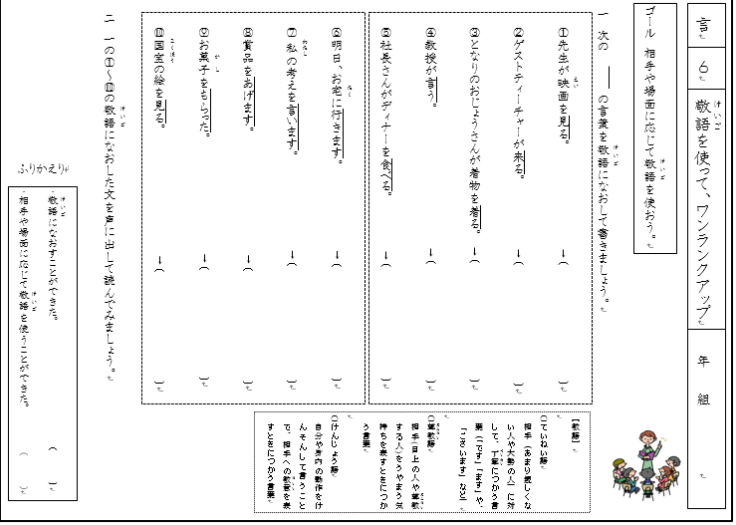


生徒の作品 ↓



「ことばのちから」活用シート 活用事例

【千早赤阪村立中学校】

活用シート名	③敬語を使って、ワンランクアップ			基になった 活用シート名	言6 敬語を使って、 ワンランクアップ
学 年	中学校2年	教 科	国語	時 期	11月
活用場面	授業（冒頭）			配当時間	20分
目 標	正しい敬語の使い方の確認				
活用シート 工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> ●「お礼の手紙を書く」単元で、敬語の使い方の復習に活用した。 ●グループワークなどで、正しい敬語の使い方を確認し、全体でも間違いやすい使い方を共有した。 				
成果や改善点	<ul style="list-style-type: none"> ●「お礼の手紙」の作成に有効であった。 ●グループワークや全体での共有で、スムーズに敬語の使い方を確認できた。 				

子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真 等）

- グループワークに積極的に取り組んだ
- グループワークで間違った敬語の使い方を共有・確認し、正しい敬語の使い方に繋がった

「ことばのちから」活用シート 活用事例

【島本町立第二中学校】

活用シート名	④ひみつのマークあてゲーム			基になった活用シート名	話聞2 ひみつのマークあてゲーム
学年	中学校2年	教科	国語	時期	5月
活用場面	授業（支援学級）			配当時間	45分
目標	「はじめに・・・、つぎに・・・」などじゅんばんにきをつけてはなせるようになる。				
活用シート 工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> ●支援学級で、順序だてて物事を話すのが苦手な生徒（A）と、言葉を発することが苦手な生徒（B）を対象に、既存の活用シートを使って授業を行った。 ●自分の説明が、相手にどのように伝わるかを「れい」を使って実際にシュミレーションをした。 「わるいれい」・・・にじゅうまるをかきます。そこにぼうをさします。 →これでは「どこに」「なんこ」「どのように」かいたらよいかつたわらないね。 「よいれい」・・・はじめににじゅうまるをひとつかきます。それから、ぼうつきキャンディーのぼうのようにそとがわのまるから下にむかってたてぼうをいっぽんかきます。これでできあがりです。 →「どこに」「なんこ」「どのように」かくのかとってもわかりやすいね！ ●実際に、「よいれい」を参考にひみつのマークの説明文を考え、プリントに記入した。 ●他の支援の先生に向けて、実際に説明文を伝え、マークを書いてもらった。 ●最後は、ひみつのマークを自分で考え、さらに説明文も加えて発表した。 				
成果や改善点	<ul style="list-style-type: none"> ●最初に自分で実際に「わるいれい」の説明文をきいてマークを書くことで、説明が不十分だった場合の書きにくさを体験し、自分の説明に活かすことができた。 ●「よいれい」の説明文をきいて書いたときに、どうして書きやすかったのかを生徒に問うことができればよかった。 ●普段、不注意性があったり、集中することが苦手だったりする生徒が、落ち着いて聞くことができた。 				

子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真 等）

（生徒A）

普段、思ったことをそのまま口に出したり、不注意性のある生徒だが、自分でつくったマークを相手に伝える、という教材に興味をもち、非常に根気強く取り組むことができた。また、書く作業も苦手であるが、横について「ていねいに書くこと」を促すと、いつもは後ろ向きな「書くこと」も前向きに頑張ることができた。

（生徒B）

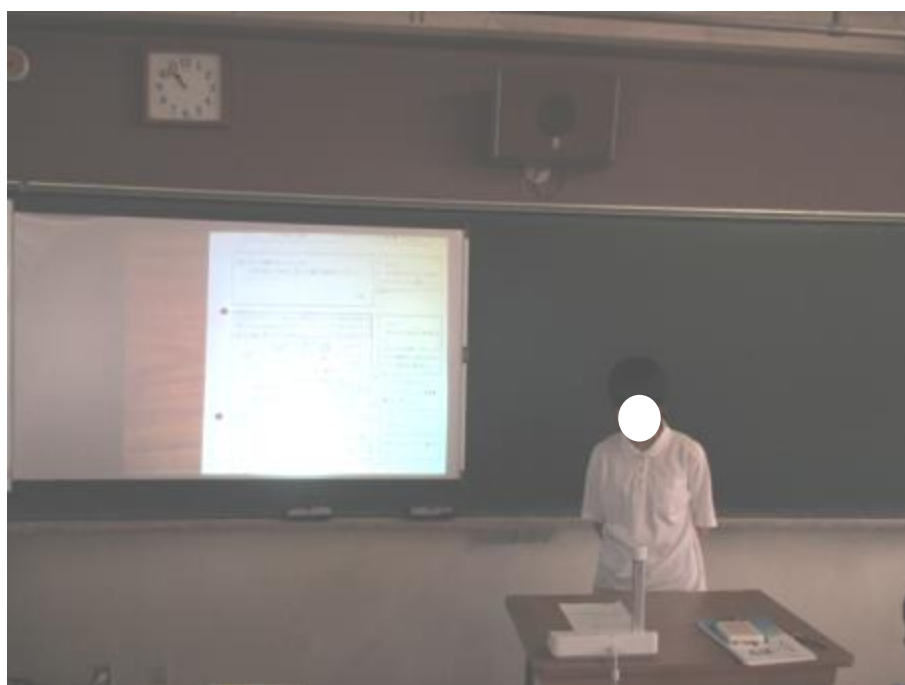
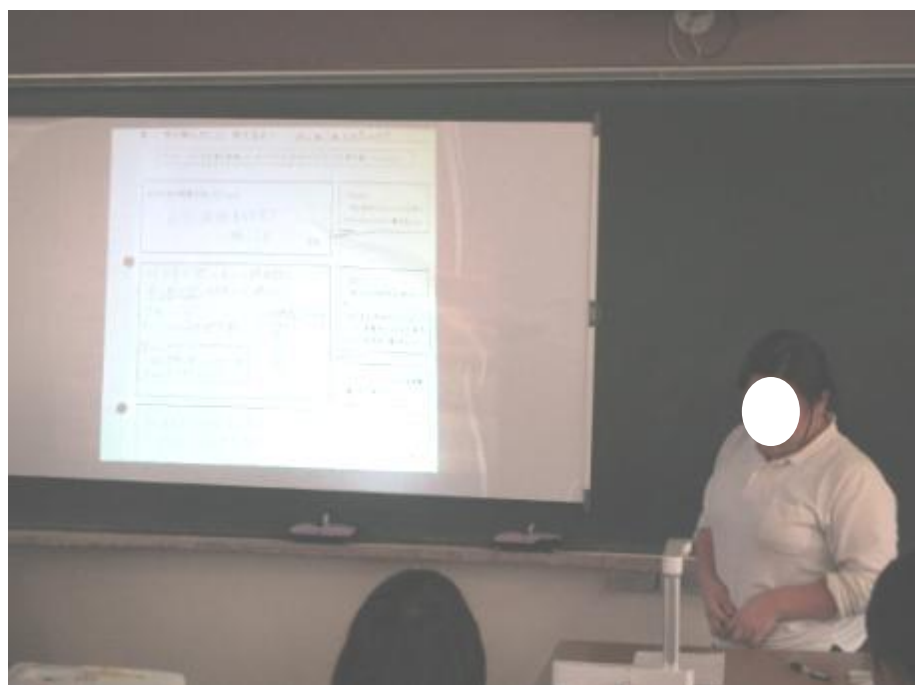
自分の思いや考えを発言することが苦手で、あまり会話でコミュニケーションをとることのない生徒だが、声に出して伝えようと努力していた。最終的には声量が足りず、文章を見せてのチャレンジとなったが、うまく伝わらなかった場合は何度も説明文を練り直し、再度チャレンジする姿が何回も見られた。

「ことばのちから」活用シート 活用事例

【枚方市立中宮中学校】

活用シート名	⑤今日学んだこと、教えるよ！			基になった活用シート名	書7 今日学んだこと、教えるよ！
学 年	中学校2年	教 科	数 学	時 期	6～7月
活用場面	授業・宿題			配当時間	30分
目 標	数学的な言葉を正しく使い、また図や表なども使って、相手にわかりやすく説明することができる。				
活用シート 工夫した点	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>書7 今日学んだこと、教えるよ！ <small>2年 組 番 名前</small></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> ゴール つなぎ言葉を意識して、わかりやすく説明するための文章を書いてみよう。 </div> <div style="display: flex; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; flex: 1;"> 私が今日の授業で学んだことは です。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; flex: 0.5; margin-left: 5px;"> 「はじめ」 何の教科のどんなことを学んだのかをかんたんに書きましょう。 </div> </div> <div style="display: flex; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; flex: 1;"> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; flex: 0.5; margin-left: 5px;"> 「なか」 学んだことをくわしく説明します。 どのような内容だったかということや、授業中に出了た意見などを、具体的に書きましょう。 </div> </div> <div style="display: flex; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; flex: 1;"> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; flex: 0.5; margin-left: 5px;"> 「まず」「そして」などのつなぎ言葉を使って書きましょう。 </div> </div> <div style="display: flex; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; flex: 1;"> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; flex: 0.5; margin-left: 5px;"> 「おわり」 学んだことに対するあなたの意見や考えを、まとめて書きましょう。 </div> </div> <p>～振り返り～</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ・「はじめ」「なか」「おわり」の組み立てで文章を書くことができました。 () ・つなぎ言葉を使って文章を書くことができました。 () </div> </div> <div style="width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ●縦書きを、数学用に横書きにした。 ●数学では説明する際に、言葉だけでなく、表や図を使って説明したほうがわかりやすく、相手に伝えやすいので、生徒にも文だけでなく、図や表を使っていいと伝えた。 ●B5サイズなので、一日の宿題として適切な量だと考え、宿題で実施した。 ●次の授業のはじめで、前時の復習として、生徒が家で書いてきたものを書画カメラで黒板に写し、プレゼンした。 ●書くだけでなく、発表する力の育成にもつながったと思う。 </div> </div>				
成果や改善点	<ul style="list-style-type: none"> ●数学が得意な生徒はもちろんだが、苦手な生徒でもその日に学習したことなので、記憶がまだしっかり頭の中に残っており、とても熱心に取り組んでいた。いい作品を生徒に見せると、「もう一度家で再考したい」「もう一枚プリントがほしい」という、ポジティブな反応が生徒から起こった。 ●書く力や発表する力の育成という点においては、継続してこの課題をやっていけば、かなりの効果が期待できるのではないかと考えている。 ●時間の配分について課題がある。50分の授業の中で、前時の復習としてプレゼンの時間を確保したので、その日の授業での時間配分についてかなり無理が生じた。 ●また書いてきたものをチェックするのもかなりの時間がかかる。このあたりについては、他教科の時間もうまく活用し、生徒にプレゼンの方法（制限時間を設けるなど）について話をしたり、何らかの工夫をしたりしていきたいと考えている。 				

子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真 等）



ゴール つなぎ言葉を意識して、わかりやすく説明するための文章を書いてみよう。

私が今日の授業で学んだことは
文章題から割合に関する連立方程式を立てること
です。

「はじめ」
何の教科のどんなことを学んだのかをかんたんに書きましょう。

「なか」
学んだことをわかりやすく説明します。
どのような内容だったかということや、授業中に出された意見などを、具体的に書きましょう。

「おわり」
学んだことに対するあなたの意見や考えを、まとめて書きましょう。

お弁当とお茶を1つずつ買った。特売日だ、たためお弁当は定価の10%引き、お茶は定価の20%引きだった。はら、た代金の合計は528円。並価で買うより72円安く、それぞれの定価を求めよ。

まずこれを図に表してみる

定価	お弁当	お茶	528 + 72
	x円	y円	600円
売値	$x \times (1 - \frac{10}{100})$	$y \times (1 - \frac{20}{100})$	72円安い 528円

次に図を使って連立方程式をつくる

お弁当を式で表す $x + y = 600$ (文字を2つ使っているから、2つの式を作る)

お茶を式で表す $\frac{90}{100}x + \frac{80}{100}y = 528$ (文字を2つ使っているから、2つの式を作る)

$1 - \frac{10}{100} = \frac{90}{100}$
 $1 - \frac{20}{100} = \frac{80}{100}$

文章題から割合に関する連立方程式を立てるとき、気をつけたい点がないと思つポイントが2つある。

- ① x%引きのときは、1から割合をひかなければならない。
- ② もとにする量が何なのか確認し、もとにする量を文字で表す。

②はもとにする量を文字で表さないと割合の式がおかしくなるからである。しかし、求めたい量を文字で表さなかったときは、答えを書き出すときに自分で問われていることを答えているかを確認することが大切だ。最後に、文章題の問題は、図や表に整理してから解くことが多い。

生徒のコメント（「おわり」に書いてある生徒の文章の一部を記載）

- 割合の問題がなかなかわからなかったけど、できるようになった。(Nさん)
- 「今年」と「去年」などの言葉がでてきたら、「去年」をx、yとおいたほうが簡単だと思った。(Oさん)
- 割合に関する連立の解法がわかったので、日常でもお金などを特に使っていきたいと思いました。(Aさん)
- あまりわからなかったので、問題の意味を理解しようと思いました。(Uさん)
- 元々、数学の計算は嫌いだけれど、2年になって計算へ対する考え方が変わってきました。あと%などのややこしい計算はまだまちがえることが多いけれど、丸が多くなるようにしていきたいです。(Fさん)

●私は最初パーセントの表し方がわからなかったけど、この授業でわかるようになったから、大人になってスーパーに行ったときにつかってみようと思った。

(Sさん)

[目次へ戻る](#)